

学長あいさつ

短体から体育科学科へ

短体は大好きな学科でした。わが大学の歴史とキャラクターを象徴するような学科で、学生たちは2年の短い学生生活だからこそ熱を込めて仲間をつくり、勉学にスポーツに力を注ぎ、明るく元気でした。4年制へ編入するためには試験があったためか、授業でも真剣でした。短体は全体的に元気に至学館で最も元気がかつ結束力の高い学科であったと思います。学生のみならず教員を含めて団結していて、活力に溢れていたのです。私はこんな短体の授業を楽しみました。月曜日の1限目というとてもない時間帯にもかかわらず、学生たちが熱く充実した日々でした。

その一方、時代は変わりました。諸科学の発達と学問の高度化があり、2年制のカリキュラムでは充分とは言えない時代になり、全国的に短大が激減しています。短大よりは3年制が一般的な専門学校に志願者が流れるという傾向が顕著になり、短体の再出発が必要になったのです。これまでの蓄積を生かし、短体のDNAを生かすというコンセプトで出来上がったのが体育科学科です。生涯に亘る健康増進を目指す健スポに対し、青少年を中心にアスリートを育成・サポートする学科です。短体の弟分(妹分?)として応援願います。



2025年に至学館は創立120周年を迎えます。今、何が出来るか一生懸命考えているところです。その翌年、2026年には愛知でアジア・アジアパラ競技大会が開催されます。東京2020を反面教師として簡素で健全な本来のスポーツ大会を取り戻す様々な試みが始まっており、愛知県中の大学も積極的に支援することが決まっています。もちろん皆さんとともに至学館はその先頭に在りたいと思います。

最後に、能登半島地震により被害にあわれました皆様方にお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈りしております。

至学館大学 学長
谷岡 郁子

REBORN 2022.4 健康科学部 体育科学科

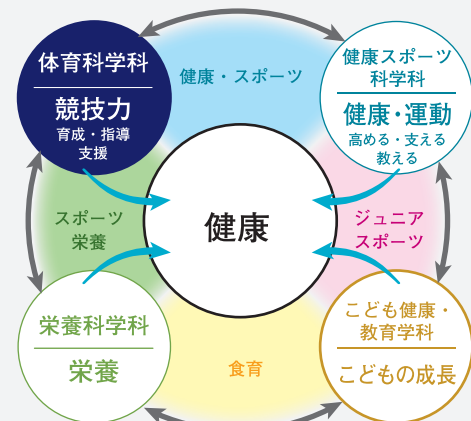
- トレーナーコース
- 競技スポーツコース
- スポーツ教育コース

アスリートの養成・指導、コンディショニングを科学的にサポートするスペシャリストを養成

体育科学科
詳細はこちら



健康科学部4学科における体育科学科の位置付け



短期大学のあゆみ

THE HISTORY

1905(明治38) 中京裁縫女学校創立

●内木玉枝先生(28歳)、名古屋市高岳町3丁目(現在の名古屋市東区東桜1丁目から2丁目辺り)に於いて創立。翌年、名古屋市南新町(現中区栄4丁目 東新町)に校舎移転。一期生は72名。

1914(大正3) 中京裁縫女学校高等師範科併設

1921(大正10) 中京高等女学校開設

1922(大正11) 中京高等女学校家事体操専攻科併設

●多くのオリンピック選手を輩出。山本定子さん(やり投)・小島文さん(円盤投) 山内リエさん(走高跳)・吉野トヨ子さん(円盤投)。

1942(昭和17) 中京高等女学校家事裁縫専攻科併設

●1945(昭和20)年3月19日の名古屋大空襲により東新町の本館並びに葵町の校舎、寄宿舎が全焼。

1950(昭和25) 中京女子短期大学(体育科・家政科)開設

●学長 内木玉枝先生就任。
●第5回国民体育大会に在学生の米陀京子さん(体育科)が女性炬火ランナーとして天皇陛下御臨席のもと炬火を点火。
●第2回アジア大会に在学生の溝口百合子さん(体育科)が円盤投・砲丸投に出場。

1957(昭和32) 東新町校舎、鉄筋建てになる

●1959(昭和34)年に伊勢湾台風襲来のため全校あげてボランティア活動に参加。

1963(昭和38) 大府市に移転

●中京女子大学体育学部(体育学科)開設。
●「第1回高祭」を開催。

1964(昭和39) 中京女子大学短期大学部に名称変更

●1965(昭和40)年中京女子大学家政学部(食物学科・児童学科)開設。
●1971(昭和46)年学長 内木成美先生就任。

1975(昭和50) 体育科を体育学科に、家政科を家政学科に名称変更

●1976(昭和51)年学長 谷岡太郎先生就任。
●1986(昭和61)年学長 谷岡郁子先生就任。

1988(昭和63) 家政学科を生活科学科に名称変更

●1992(平成4)年中京女子大学大学院健康科学研究科開設。
●1995(平成7)年中京女子大学健康科学部(健康スポーツ科学科・栄養科学科)及び人文学部(児童学科・アジア文化学科)開設。
●2005(平成17)年学園創立100周年。

2008(平成20) 生活科学科 廃止

2009(平成21) 専攻科(アスレティックトレーナー専攻)開設

●全学部学科にて男子受け入れを開始。

2010(平成22) 至学館大学短期大学部に校名変更(男女共学化)

●至学館大学健康科学部(健康スポーツ科学科、栄養科学科、こども健康・教育学科)に改組。
●2015(平成27)年 学園創立110周年。
●2016(平成28)年「夢追人」が学園歌、これまでの学園歌は創設歌となる。
●2022(令和4)年 至学館大学健康科学部体育科学科開設。

2023(令和5) 体育学科 廃止

2024(令和6) 専攻科 廃止 短期大学部 閉学



短大74年の歴史に幕！思い出は、未来へ「つ・な・ぐ」プロローグ

閉幕に寄せて



2012(平成24)年度短期大学部体育学科卒
2013(平成25)年度専攻科修了
松浦 光朗
(健康科学部体育科学科助手)

中京女子大学短期大学から続く至学館大学短期大学の歴史が2023年度をもって幕を閉じることとなり、卒業生として大変寂しい気持ちでいっぱいです。私は、この至学館大学短期大学部で体育科学科・専攻科と3年間非常に多くのものを学ぶことができました。特に専攻科時代では、将来AT(アスレティックトレーナー)として仕事になりたいという想いで進学し、先生方や同期の仲間たちと日々トレーナー活動に励みました。日間賀島で行われるトレーナー勉強会では、自分たちが取り組んできたトレーナー活動についてATとして活躍されている先生方や同期、ATを目指す後輩たちの前で緊張しながら発表したことは今でも鮮明に覚えています。至学館大学短期大学部は幕を閉じますが、新たに至学館大学健康科学部体育科学科が設立され、至学館大学短期大学のレガシーを引き継ぎ、これから更に成長し、ますます輝かしいものになることを願っています。



1964(昭和39)年度
短期大学部家政学科卒
沢田(内藤) 英子

私は今年80歳になります。短大に入学したのはもう61年前です。私の高校時代の先生は、短体を卒業された方でした。「教員を希望するならば中京女子短大に行きなさい!」と強く推してくださいました。当時体育系の大学は愛知では2~3校ぐらいだったと思います。クラスメイト3人で入学しましたが、教室はまるで高校みたいでした。有松からスクールバスに乗り、若い女学生の黄色い声が賑やかでした。あのバスで友達が早くでき親しみ、馴染みました。名古屋の都会の学生は、ほんのり香水の香りにおしゃれなファッションで自分は田舎者だなと思ったものです。頑張って4年制に編入しておけばよかったと心残りもありますが、他大学の学生とも交流ができ、本当に楽しかった短大生活でした。家政系学科でしたが学内に数多いスポーツを間近に接することができ関心を深めたことも事実です。肉体と精神を強く鍛えながら学問を学べる最高の大学だと確信しています。至学館大学の礎である伝統のある短期大学部は閉幕しますが、卒業生であることに変わりはなく、これからも誇りを持って至学館大学の未来を応援していきます。



至学館大学
短期大学部長
氏原 隆

これまで体育教員をはじめ多くの有能な人材を世に輩出してまいりました至学館大学短期大学部(以下、本学部と略)が本年度で閉学となり、長い歴史に終止符を打つこととなりました。近年における大学を取り巻く状況は非常に厳しいものがあります。少子化の影響とともに社会的なニーズは、以前のような2年間の「短期養成」よりも、四年制大学での「質の高い指導力の養成」へとシフトしており、残念ながら本学部も時代の波に逆らうことは叶いませんでした。本学部は、1905(明治38)年に内木学園中京裁縫女学校を前身とし、その後、数回の校名、学科名変更を経て、現在に至っています。当初は「体育」と「家政」の2学科でしたが、2008(平成20)年に生活科学科が閉科となり、また2023(令和5)年には「体育学科」が閉科され、現在は「専攻科(アスレティックトレーナー専攻)」を残すのみとなっています。今後は、学内外からの評価が非常に高い本学部の教育力を、そのまま新たに開学した体育科学科に移行し、これからも多くの有能な人材を世に輩出し続けていきます。これまで、本学部にご支援いただき、本当にありがとうございました。

短大閉幕セレモニーご案内

「短大閉幕 セレモニー」 の開催予定

日時

2024年7月31日(水)

場所

名古屋ガーデンパレス

詳細は決まり次第ご案内いたします

地域連携・協力の取り組み

2023.6
広島県庄原市と包括連携に関する協定を締結しました。

至学館大学が中国地方の自治体と連携協定を締結するのは初めてで、地域振興に関することや教育・文化及びスポーツの振興等に関して相互の発展に寄与することを目的に連携・協力し、交流を行っています。11月には、庄原市・神石高原町及び地域住民等が連携して実施する「名勝・国定公園帝釈峡記念事業」のメインイベントとして開催された『帝釈峡マラニック大会』に陸上競技部の学生4名が参加しました。



至学館大学の産・学・官・高大連携・包括協定の一覧はこちら



2026アジア・アジパラ競技大会関連

2023.11
公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会主催の大学連携事業『キックオフイベント～大会を盛り上げるアイデアを考えよう!～』が至学館大学で開催されました!

谷岡郁子学長が事務局を務める「愛知学長懇話会2026アジア競技大会・アジアパラ競技大会専門委員会」が協力したイベントが学内で開催され、愛知県内の大学・大学院に在学中の学生や大会に興味のある高校生たちが集まりました。パネルディスカッションでは、レスリング女子選手の吉本玲美那さん(令和4年度健スポ卒)と山本和佳さん(健スポ3年生)の他、元体操選手で体育科学科の寺本明日香助教が登壇。参加者によるグループワークと発表が行われました。



NEWS動画
 はこちら



「関係ないと言わぬ人」平和教育への取り組み

2022.4
ウクライナから避難してきた家族が大学授業のゲスト講師として登壇。ウクライナの美しい街並みや文化、「いま」について学びました。

「戦争は日本には関係ないと思わないでほしい。」「どんな未来を創っていききたいのか自ら考えるきっかけになってほしい。」という思いのもと、越智久美子准教授が愛知県大府市に住むウクライナ人イリーナ・イワニウクさんと戦地から避難してきたその家族をゲスト講師としてお招きしました。



NEWS動画
 はこちら



2023.6~7
ウクライナ女子レスリングチームが至学館大学で合宿!特別公開授業が行われました。

自国で練習場所が確保できないことから、日本レスリング協会副会長を務める谷岡郁子学長が国際大会で支援を申し出たことで実現。滞在中には、ロシアに侵攻された母国の状況を伝える特別授業が開講されました。選手や指導者から母国の悲慘な状況や体験が語られ、早期終戦への思いを訴えました。



NEWS動画
 はこちら



2023.11
ウクライナ避難民支援活動で学生が大活躍!

西尾市で開催された「ウクライナ避難民温泉大交流会」(主催:あいち・なごやウクライナ避難者支援ネットワーク)に学生4名が「人間力総合演習」の一環として、短期大学部専攻科生6名はもみほぐしボランティアとして参加し、70名を超えるウクライナの方々や支援関係者と関わりながら、ウクライナの現状について理解を深めました。



「関係ないと言わぬ人」主権者教育への取り組み

2023.4~12
「若者の投票率をあげ隊」が結成され、選挙の啓発活動や「期日前投票所」を設置・運営。移動型期日前投票所を導入し、投票率向上に貢献しました!

2016年より大学が力を入れて取り組んでいる主権者教育、越智久美子准教授のゼミ生が中心となり「若者の投票率をあげ隊」を結成!また、「一人でも多くの方に投票の機会を!」とゼミ生からの提案で大府市内4箇所に新たに「移動型」の期日前投票所が設置され、大府市の投票率向上に大きく貢献しました。大府市市議会議員との意見交換会も毎年実施されています。



取り組みの様子はこちら



2023.5~7
愛知県全ての自治体に「パートナーシップ制度・ファミリーシップ宣誓制度」の導入を求めて、愛知県内32市町村の首長あてに要望書を提出しました!

越智久美子准教授のゼミ生が愛知県知事、大府市長(大府市議会には請願書)、東浦町長、清須市長に要望書を提出、その他29市町村には首長宛てに手紙とともに郵送しました。この活動がきっかけとなり、愛知県では全国先駆けて「ファミリーシップ制度」が導入されることになりました。これらの取り組みが評価され「2023マニフェスト大賞」でエリア選抜、また総務省のHPに掲載されました。



取り組みの様子はこちら



その他

2023.12
学園歌「夢追人」を歌うガクカン歌手オーディションがコミュニケーション研究所主催で開催されました!



★ガクカン歌手 坪井麻寛さん(健康スポーツ科学科1年)写真中央
 ★バックボカール 石田彩佳さん(健康スポーツ科学科3年)
 小川真凜さん(健康スポーツ科学科3年)

入学式や卒業式をはじめ様々な大学行事で歌を披露します。

2023.4
レスリング部が長野県天龍村のイベントに参加しました!

至学館大学と交流がある長野県天龍村で開催された総合体育施設の完成記念イベントに、レスリング部の選手6名と監督・コーチが参加しました。レスリングマットの上で子どもから高齢者までが一緒に体を動かして親交を深めました。



2023.7
「第3回絵本フェス」に学生26名が参加し大活躍しました!
 「第3回絵本フェス」(主催:絵本フェス実行委員会)が名古屋市で開催され、健康科学部2~4年生の学生26名が参加しました。来場者は1,000名を超え、至学館大学ブースでは、学生たちが影絵芝居と人形劇を披露し、物語を楽しむための舞台づくり・場づくりについて学びを深めました。来年度も開催が予定されています。



2023.11
至学館オリジナルグッズに新商品が仲間入り!



「クリップファイル」
 全5色、1,190円(税込)



「スマホストラップ」
 全4色、310円(税込)

大学の話題トピックス紹介サイト >>



秘書・広報室Instagram

至学館大学独自の取り組みについてご紹介

至学館大学では、教育理念である「人間力の形成」の実現に向け、2012(平成24)年度より現代教養科目「人間力総合演習」を開講し、独自の教育活動を展開しています。

「人間力総合演習」とは？

至学館大学の教育理念である「人間力の形成」に基づき、学生の主体的な行動(実践)を通じて、より高い人間力を身に付けることを目標とする本学独自の授業科目です。

この科目のとりまとめをしているところが「人間力開発センター」です。

本科目は、講義と演習で構成されています。演習の具体的な内容は、子どもの学習支援、体育教室、高齢者との交流、地域のお祭・イベント、スタディツアーへの参加・参画などの地域の方と共に取り組む活動のほか、コーチング演習、コミュニケーション演習など学内で学びを深める活動があります。学生は多種多様な演習に主体的に挑戦し、気づきや学びを得て自身の目標達成や成長につなげています。



老人クラブとの交流会
学生がレクリエーションを考え、60名を超えるクラブ会員の方と交流を図り、企画力、コミュニケーション力を高めた。



下呂市馬瀬スタディツアー
3泊4日で下呂市馬瀬地区に足を運び、農山村での生活を体験しながら自分のキャリアを見つめ直した。



公民館まつりでの竹ぼっくりブース
公民館まつりでの出展内容を一から考え、運営も行い、企画力、コミュニケーション力を高めた。



子ども体育教室スタッフ
学生が教室のメニューを考え、共に運営も担った。指導力を高め、子どもとの接し方について学んだ。



夏祭りでの縁日ブース運営
大府夏まつりで、大府商工会議所青年部と連携し、子ども向けブースの運営を行った。コミュニケーション力を高めた。



コーチング入門演習
2日間に亘りプロコーチから、人の成長を支援する手法であるコーチングについて学んだ。演習を中心に、話し方、質問の仕方、フィードバックの方法などを学んだ。

学科紹介サイト

健康科学部 各学科の取り組みはこちら



大学院

教員情報

退職された先生方

2021(令和3)年度



江藤 義春先生



小塚 諭先生



廣瀬 帆曜先生



吉本 健一先生



加古 有子先生



村山 大輔先生

2021(令和3)年度



長田 結衣先生



加藤 美緒先生



鈴木(原) 菜月先生

2022(令和4)年度



細谷 正明先生



内野(武田) 佳菜先生

訃報 心からご冥福をお祈りします。

山田 久美子 名誉教授
2022.10.30(享年86歳)
大北 英紀 名誉教授
2022.12.20(享年81歳)

注目の課外活動を紹介します！

クラブ生と卒業生インタビューはこちら

全てのクラブ・同好会の情報ははこちら

体操競技部

体操競技部は、現在17名の選手と10名のスタッフ(令和5年11月現在)で活動しています。令和4年9月から本学の教員となった寺本明日香助教(オリンピック2大会出場)が女子監督を務め、パワーアップ中です。まだまだこれからのチームですが、男女ともに「1部昇格」を目指し、日々練習に励み、雰囲気良く、練習に取り組んでいます。これからも全員一丸で頑張りますので、応援のほど、よろしくお願ひいたします。



ここに注目！オリンピック寺本明日香さんが体操競技(女子)監督に就任！

教えて！明日香先生！

女子主将である稲垣菜優さん(体育科学科2年生)から寺本監督へ気になることを質問してみました！

Q1: 学生に器械運動を教えるようになっていかがですか？

まず学生が意欲を持って、授業に取り組んでくれることを目標にしています。私の授業は習った技をピックアップして演技を完成させて披露するという流れで、数回の授業の練習の中で、学生同士で教えあったり、補助したり、されたりして器械運動を教える力も学びます。スポーツ系の大学なので思ったよりもできる子が多いですが、その中でもできない子が技をできるようになるために必要な補助の仕方やアドバイスをみんなで実践している光景が多々あって良かったなと思っています。

Q2: 指導するにあたって特に心がけていることや大切にしていることはありますか？

自分の理想を押し付けないようにすることを心がけています。個々の選手の目標ややりたいことのレベルに視点を合わせて言葉掛けやメニューを調整しています。無理にやらせることはいいです。もってきそうだと思う選手に対しては、新しいことに挑戦するきっかけを作ってあげ、モチベーションを保てるように心がけています。

Q3: 選手時代にうまく練習を進められなかったり、いき詰った時のモチベーション維持について教えてください。

不安に思っていることなどを言える人に相談したりしていました。話すことによって、スッキリすることもあるし、たまには勇気をもって少し休むこともしました。でも私は極力、モチベーションが上がってない時でも体育館に足を運んでいることが多かったです。練習ができなくてもずっと他の選手の練習をみただけでもいいんです。毎日の1ミリの積み重ねが大事だと思いながら、練習に励んでいました。もし試合がダメでも、後悔しない練習を心がけてみると頑張ってた良かったと思えるはずですよ。

令和5年度の主な公式記録

第77回全日本学生体操競技選手権大会

○男子

団体総合: 2部 第8位

種目別選手権: 鉄棒2部: 高野 響輝(健康スポーツ科学科4年)

○女子

団体総合: 2部 第2位

種目別選手権: 平均台2部 第2位

苺谷 天音(健康スポーツ科学科2年)

稲垣 菜優(体育科学科2年)

第73回西日本学生体操選手権大会

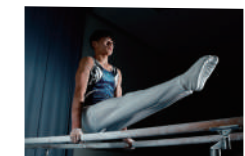
○男子

団体総合: 第10位

○女子

団体総合: 第5位

過去最高順位



高野 響輝さん



苺谷 天音さん



指導中の寺本明日香監督

1年間の密着取材動画はこちら



活躍している学生をピックアップ

2023.11

共同で参加した研究が国際学術誌『Frontiers in Neuroscience』に掲載されました！



丸山 菜穂さんと清塚 麻衣さん
(栄養科学科3年)

多田 敬典 栄養科学科教授と他機関との共同で行われた研究に参加し、脳内の細胞活動変化を網羅的に解析する方法を提案しました。

2023.10

マラヤ大学(マレーシア)主催の国際会議で卒業論文の一部を英語で発表しました！



恒川 青空さん
(栄養科学科4年)

『1980年代以降のサッカーマンガにおける食表象の変遷』というタイトルの論文を短期留学で培った英語で堂々と発表しました。

2023.9

第19回アジア競技大会(杭州)レスリング女子76kg級に出場し健闘しました！



山本 和佳さん
(健康スポーツ科学科3年)

三重県・一志ジュニア出身、至学館高校卒業。ロサンゼルス五輪出場を目指しています。

新企画! 職種別同窓会「教職員の会」を開催しました!

2023.8.26

会員からの要望にお応えて新たに職種別同窓会「教職員の会」を開催しました!卒業生の足立美都樹さん(平成8年度体育学部体育学科卒)に『世代を超える対応力』と題して講演いただいた後に懇親を深めました。卒業以来46年ぶりに母校を訪れた方や親子2世代で参加いただいた方など、幅広い年代の方たちにお集まりいただきました。次回は2024(令和6)年8月に開催予定です。お楽しみに!



参加者の感想

中村(大川) 亜矢子さん
(平成4年度体育学部体育学科卒)



懇親会では、いろんな方と名刺交換をしました。創作ダンス部の先輩、学部は違う同級生、ゴルフ同好会→ゴルフ部を作った先輩など、お久しぶり、初めましての方との名刺交換は有意義でした。谷岡学長はやっぱりお元気!学校の先生、部活の先生への思い、2026年アジア・アジパラ大会についてのお考えは素晴らしいと思いました。実現できるように、何かお手伝いできるといいなあと思いました。

そして、今日はレヌカに会えず残念。レヌカが校長のスリランカ日本語学校からのメッセージを聞きました。立派な学校だった。頑張ってるなあ。自分だけが幸せになるだけでなく、スリランカを豊かな国にしたい、日本とスリランカの架け橋になりたい、ずっと、この気持ちにブレがなく突き進んでいる。レヌカが名古屋へ戻ってきたら、カレーの会しなきゃな。レヌカの話も聞きたいな。

同窓会の開催を支援!集まろう・参加しよう!

●「同窓会開催補助金制度」を活用しよう!

10人以上の参加が見込まれる同窓会開催時に参加者一人当たり1,000円(上限10万円)を補助する制度です。開催の企画・運営のサポートもしています。ぜひご利用ください。

CHECK



2024.1
●ソフトテニス部学生OG交流会
提供:須原(村上)千恵さん
平成元年度短期大学部体育学科卒



2023.9
●SGKゴルフ親睦会
提供:北山 義達さん
平成30年度健康科学部健康スポーツ科学科卒



2023.5
●S44年度短体クラス会
提供:足立(山田)典子さん
昭和44年度短期大学部体育学科卒

その他、同窓会開催の様子はこちらから

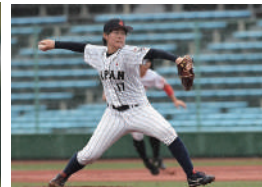


卒業生の活躍を支援・応援しています!

侍ジャパン女子代表として2024年に開催される第9回WBSC女子野球ワールドカップ ファイナルステージに進出します!



坂東 瑞紀さん
平成27年度
健康科学部健康スポーツ科学科卒
はつかいちサンプルズ所属



堀田 ありさん
平成28年度
短期大学部体育学科卒
東海NEXUS所属

フットゴルフ日本代表選手として「World Cup 2023」にスタメンで出場しました!



藤原 義晃さん
平成29年度
健康科学部健康スポーツ科学科卒
愛知県新城市役所観光課勤務

アジア最大のスポーツの祭典『第19回アジア競技大会』レスリング女子競技で大健闘しました!



50kg級 優勝
吉元 玲美那さん
令和4年度健康科学部
健康スポーツ科学科卒
KeepPer技術株式会社所属



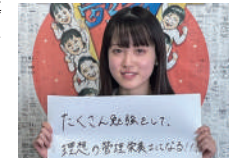
68kg級 3位
松雪 成葉さん
令和3年度健康科学部
健康スポーツ科学科卒
ジェイテクト所属

同窓会奨学生を紹介します!

管理栄養士の夢を叶えました!

私は、高校生の頃から夢だった管理栄養士を諦めるべきか悩んだ時期がありました。そんな私を救ってくれたのが同窓会奨学金でした。頂いた奨学金は参考書を購入したり受験費用などに使わせて頂き、一生懸命勉強しました。お陰でデイサービスで管理栄養士と介護職を兼務しながら働いています。1日のほとんどが介護の仕事にはなりますが、栄養指導や栄養講座を実施したり、とても仕事にやりがいを感じています。

夢に向かって必死に勉強を続けたあの日は、正直苦痛で何度も逃げ出しましたが、今思えば逃げずに努力し続けて正解だったなと思います。これからも管理栄養士として沢山のやりがいを感じていけるよう、日々過ごしていきたいです。

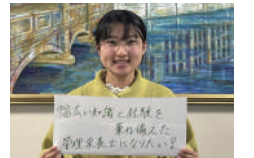


西脇 花歩さん
令和4年度健康科学部
栄養科学科卒

野菜と果物に関する資格を取得しました!

私は、どんな場面でも活躍できる幅広い知識と経験を兼ね備えた管理栄養士を目指しています。管理栄養士には個々の野菜や果物の知識が必要だと思いますが、大学の講義ではあまり触れません。そこで、オーガニック野菜アドバイザーと野菜栽培士、オーガニック果物ソムリエと果物インストラクターという資格に挑戦しました。季節ごとの野菜の育て方や栄養素、果物の知識や歴史、見分け方、保存方法、レシピなどを学び、日常生活に活かすことができました。

今後はさらに難易度の高い野菜ソムリエの勉強をして、さらに幅広い知識を身につけたいです。現在は、料理やエレクトーンを習っています。様々なことに挑戦して、大学生活を通して成長できたと自信を持って言えるように頑張ります!



伊藤 菜央さん
健康科学部
栄養科学科3年

大学の活動を支援しました!

2023.6

ようこそ至学館へ!ウクライナ女子レスリングチームが至学館大学で合宿!
同窓会は、滞在費の一部を支援しました!



2023.10

4年ぶりに至大祭が開催!同窓会から大学祭実行委員会へ助成金を贈呈しました。卒業生企画のブースも出店しました!



助成金の贈呈
田中望同窓会長から
大学祭実行委員長へ

手相・字相占い
本林(梅田)博子さん
昭和55年度体育学部
体育学科卒

カラーセラピー
澤田(加藤)由美子さん
平成4年度家政学部
児童学科卒

カヤック体験
末松 佳子さん
平成15年度健康科学部
健康スポーツ科学科卒

誰もが活躍できる社会に！
一人でも多くの市民を災害から守りたい！



平成20年度
短期大学部体育学科卒
消防吏員／公務員
細田 久美子さん

学生時代の
ハングリー精神を忘れず
常に挑戦し続ける起業家！



平成26年度
健康科学部健康スポーツ科学科卒
株式会社Ficus代表取締役
山田 貴都さん

やさしいきもちを
そっとお花に添えて届けます！



平成2年度 家政学部児童学科卒
お花屋さん (有) 共栄グリーン
中村 (竹吉) 裕美さん
現役弓道選手。近的・遠的競技共に
団体4大会連続入賞！

パーソナルトレーナー/
フィットネスモデルから競輪選手へ転身
レースで魅せられる選手になりたい！



平成30年度
健康科学部健康スポーツ科学科卒
プロ競輪選手
水谷 亮太さん

起業とパートナーシップを
両立して叶えるがモットー



平成24年度
健康科学部健康スポーツ科学科卒
**ライフプロデューサー/
旅する夫婦起業家**
兼子 メイさん

沖縄民謡を通じ、平和を伝えながら
音楽を楽しむ事も伝えていきます！



昭和63年度
体育学部体育学科卒
三線奏者
知花 時野さん

卒業生のゲンザイ。

至学館大学での
学びを活かし
さまざまな分野で活躍する
卒業生をご紹介します！

遺伝子検査と栄養サポートを組み合わせた
「オーダーメイド栄養サポートプログラム」を展開



平成14年度
大学院健康科学研究科修了
管理栄養士
株式会社カリテス代表取締役
桑原 裕子さん

SNSで農業の魅力を発信するインフルエンサー
若い世代にも農業の魅力を知ってほしい！



平成26年度
健康科学部健康スポーツ科学科卒
「農家のKT」
近藤 匠さん

トヨタ系ディーラーの秘書を
約20年以上勤めて
只今チョークアーティスト
チョークアートで笑顔とご縁をいただいています



昭和59年度
家政学部児童学科卒
チョークアーティスト
向 (中藤) 彰子さん

「速く走る」を通して
たくさんの方に幸せを！



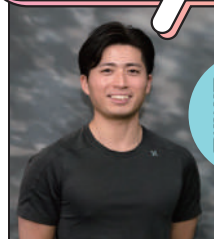
平成24年度
健康科学部健康スポーツ科学科卒
「AMANOスプリントスクール」代表
天野 裕太さん

選手が悩んだり迷ったときに
思い浮かぶ存在になりたい！



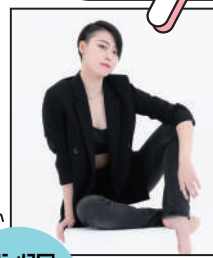
平成16年度
健康科学部栄養科学科卒
HPCJCスポーツ栄養士
河村 美樹さん

ドライバーの飛距離アップ！
一生できるゴルフをサポートします！



平成28年度 短期大学部体育学科卒
**ゴルフ専門パーソナルジム
「Venty Golf Fitness」代表**
菊地 将平さん

自分にしかできない仕事がしたい
世界で活躍したい



平成30年度
短期大学部体育学科卒
**サーカスアーティスト/
フラフープパーformer/
新体操コーチ**
神谷 梨帆さん

2023 Cirque du soleil VIZION 出演
ジャグリングの国際大会パフォーマンス部門で
見事グランプリ賞と芸術賞を受賞

【産後ケア】と【脳育運動】を発信
「産後ケア」と「子どもの脳育運動教室」で
お母さん達をサポート！



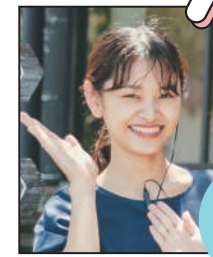
平成10年度
健康科学部健康スポーツ科学科卒
産後ケア&脳育運動教室チルチェ主催
小野崎 あゆみさん

正しいボディメイクを伝えるために
管理栄養士パーソナルトレーナーに。
明日の自分をもっと好きになれるお手伝いを！



平成30年度
健康科学部栄養科学科卒
管理栄養士パーソナルトレーナー
小椋 利佳さん

結婚식을諦めてしまう
カップルを0に！



平成30年度
健康科学部栄養科学科卒
ウェディングプランナー
森田 知里さん

SHIGAKKAN FAMILY MESSAGE

金田 紋佳さん

令和2年度大学院修了 愛知県在住

いつも応援いただきありがとうございます。2023年シーズンの「日本女子クリケットリーグ」の試合が全て終了し、私が所属する「女子アドレクリケットクラブ」はプレーオフで勝利し『3位』が確定しました。私個人では、日本女子クリケットリーグでプレイヤーランキング(全選手中)1位となれました。2023年シーズン、少しずつ結果に繋がってきました。来シーズンは、全部門で1位になれるようにより一層頑張っていきたいと思ひます。今後とも応援よろしくお願ひいたします。

ララニ・レヌカさん

平成14年度健スポ卒 スリランカ在住

皆様お元気ですか?現在、スリランカの「蓮の花日本語学校」の校長として働いています。この学校の設立には数年かかり生徒は50人ぐらいです。日本とスリランカの架け橋になればと思っています。学生さんたちにお越しいただき、ボランティアで日本の文化や言語、日本のいいところと一緒に学んでもらえると嬉しいなど思っています。カレーパーティーをして集まりたいです!

木村(若山)和美さん

昭和59年度大体卒 愛知県在住

現役女子フィジーク(女子ボディビル)。毎日筋トレして大会に出ています。日本マスターズ(JBBF 日本クラス別女子60歳以上)に出場し、9位になりました。

金丸(高根)京子さん

昭和57年度大体卒 京都府在住

中学校の校長を定年退職し、京都の大学(非常勤講師)で教職課程指導を、また高校でカウンセラーとして第2の人生をスタートさせました。大学の更なる発展を応援しつつ、自分もまだまだ頑張りたいと思っています。

兵藤 亮元さん

令和元年度健スポ卒 愛知県在住

愛知県東海市消防本部に勤務しています。8月に北海道で開催された「第51回全国消防救助技術大会」のほふく救出の種目に愛知県代表として出場しました。支えてくれる周りの人や環境に感謝の気持ちを忘れないことが必ず行動や結果に繋がると感じました。今後一層活躍できるよう頑張ります!

山口(加藤)夕奈さん

平成21年度健スポ卒 愛知県在住

卒業時からやりたかったことを実現する為に、運動能力向上教室を始めました!コーディネーショントレーニングや運動遊びを通して子ども達に体を動かす楽しさを伝えていきたいです(^^)応援よろしくお願ひします! Instagram:@NICOCICOYUNA

辰巳(太田)順子さん

平成10年度アジア文化卒 愛知県在住

ディズニーダンサーを経てヨガインストラクターとして地域の方々に健康や心が繋がるレッスンをお伝えしています。「現代人間論」でゲスト講師をさせていただきました。

伊藤(三輪)恵美さん

平成17年度児童卒 愛知県在住

卒業後4年間、愛知県新城市にある児童養護施設で保育士として働き、その後色々経験をし、2児の母になりました。子ども達の発達障害と知的障害が発覚してからは、障害児育児をしながら少しでも同じ境遇の子や親御さんのお手伝いが出来ればと思ひ、昨年度から児童発達支援・放課後等デイサービスで働いています。同窓生、在学生の皆さん!学生のうちにしか出来ないこともあると思ひますが、自分の夢に向かって過ごして下さい。また、色々な経験を沢山して下さい。その経験が夢や希望に一歩近づくはずですよ。

島袋 喜美恵さん

昭和62年度大体卒 沖縄県在住

宜野湾市役所に勤務しています。これからの社会において、健康づくりは最重要課題です。至学館大学もその課題解決に寄与する人間を育成し社会に送り出して欲しいです。この国が幸せになるか否かの大きなテーマだと思ひています。地域の実態を知るにつれ健康づくりの必要性を強く認識し、最近、「健康づくり財団」主催の養成講座で健康運動指導士の資格を取得しました。活動はこれからですが少しでも地域の役に立つことをしたいと思ひています。学生、同窓生の皆様がそれぞれの場所で健康づくりに携わることを願ひています。

水野(光田)紀子さん

平成7年度食栄卒 愛知県在住

公務員になって28年になりました。娘も管理栄養士を目指し大学に通っています。親子で栄養士です。みんな元気?

仁尾(伊藤)ゆりさん

昭和58年度大体卒 三重県在住

フラセラピーインターナショナル代表。ハワイと日本を中心にプロフラダンサーと指導者として活動しています。

祝 至学館高校ダンス部が世界大会で優勝!



石原弘恵さん(平成29年度大学院修了)がコーチとして活躍中!

ダンス初心者の方がこうして顧問としてやってこれたのもコーチ、OG、そして生徒達保護者をはじめとする応援してくださる皆様のおかげです。初めてのこのダンスドリルインターナショナル大会に挑戦したのは2006年の4月、悔しい結果でした。2013年部門別lyrical,HIPHOPの2部門初めて1位をとり、そして今回は4部門で挑戦し、久しぶりに2部門で1位、今回初挑戦のJAZZ部門では2位という成績を納めることができました。これからも残された教員人生、生徒とともに歩んで行きたいと思ひます。

顧問 泉 恵美さん(昭和62年度大体卒)

玉や荘のおじさん

91歳になりました。今だに竹細工を作って平田幸男先生の授業で学生さんたちに教えています。ふらふらしてますが皆さんが喜んでくれるので嬉しくて続いています。皆さんがとても懐かしいです。青森県出身の学生さんで佐藤さなえさんとは連絡を取り合っていました。校長になったと聞いています。文通をしていましたが、最近はずが書けなくなってしまいご無沙汰しています。たくさんの懐かしい思い出があります。2人とも元気にしています。

尾澤 英夫さん



事務局だより



公式アカウントはじめました!

科目等履修生制度の受講料減免措置

卒業生は、入学登録料(5,000円)は無料となり、科目等履修料(1単位につき11,000円)は半額となります。また修得した単位は、学位授与機構に申請する単位としても利用できます。



お問い合わせ先
学務課 教学支援部門 **0562-46-1218**(直通)



アルバムや写真などをご恵贈ください

ご恵贈いただいた資料は、同窓会から学園に引継ぎます。次世代へ繋ぐ資料として大切に保管し歴史を継承していきます。ご協力をお願いいたします。



卒業後の就職支援

求人情報検索システム「求人NAVI」で卒業生向け求人情報を閲覧できます。利用される場合登録が必要です。詳細は大学サイト又は学生進路支援室までお問い合わせください。



お問い合わせ先
学務課 進路支援室 **0562-46-1219**(直通)



同窓生特別推薦入試(専願制)制度導入について(お知らせ)

2025(令和7)年度入学者選抜試験から「同窓生特別推薦入試(専願制)」が導入されます。

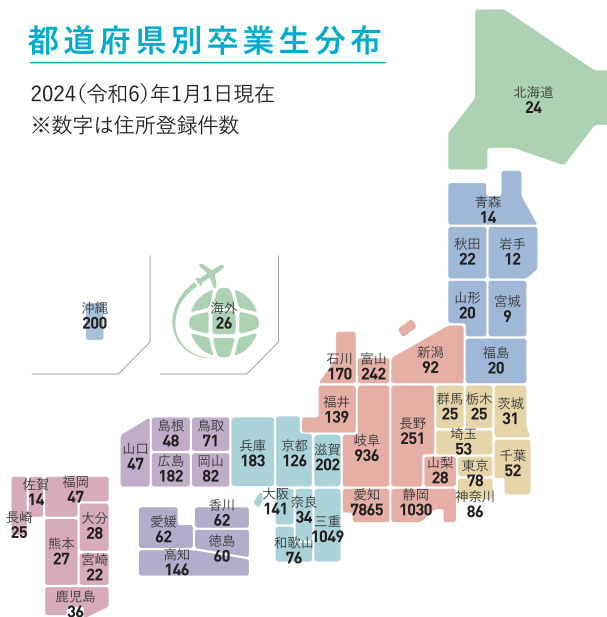
この入試制度は、卒業生の子女に対して母校で学ぶ機会を積極的に提供することを目的とし、卒業生の母校への強い愛と建学の理念への共鳴を次代に引き継ぐ気持ちに至学館大学が応えることによって実現されたものです。また、卒業生自身が母校の教育方針に対して理解・賛同し、入学を強く希望する受験生(卒業生の子女を含む。)を責任もって推薦することにより、自己の学修目的を認識し自己実現を図ろうとする意欲のある入学者を選抜する制度です。

お問い合わせ先
至学館大学
入試・広報課 **0562-46-8861**
E-mail: info-inv@sgk.ac.jp
詳しくは大学HP受験生サイトでお知らせしています。(4月中旬頃公開予定)



都道府県別卒業生分布

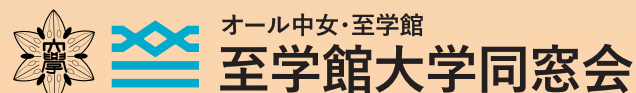
2024(令和6)年1月1日現在
※数字は住所登録件数



令和6年能登半島地震のお見舞い

2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」では、多くの尊い命が失われました。お亡くなりになられた方々に深い追悼の意を表します。同時に、被災地では多くの方が大変な状況に直面されておられると拝察します。被災地域の皆様が一日も早く安全で安心した生活を送ることができるよう心よりお祈り申し上げます。至学館大学同窓会は被災された皆様に必要な支援を検討しております。今後、HP等を活用し、ご案内をさせていただきます。

至学館大学同窓会長 田中 望



〒474-8651 愛知県大府市横根町名高山55

TEL 0562-46-6197

FAX 0562-46-6704

E-mail sgkcwu-k@sgk.ac.jp

HP <https://www.sgk.ac.jp/dousoukai/>



業務時間 月曜日～金曜日 午前10時～午後3時(土日・祝日はお休み)
※訪問いただく場合は、事前にご連絡をお願いいたします。

個人情報の取り扱いについて

同窓会では、個人情報について下記の方針で取り扱いたします。

- 個人情報の取り扱いについては法令その他の規範を遵守します。
- ご本人から個人情報を開示、訂正、削除の請求がされた場合は、その請求を尊重して対応します。
- 収集した個人情報は、同窓会会則に沿った目的以外には使用しません。

QRコードの読み取り方

読み取り方は簡単!カメラアプリを起動して画面をQRコードにかざすだけ



思い出は、未来へ「つ・な・ぐ」プロローグ

至学館大学短期大学部74年の歴史に幕!

New! 2022年4月健康科学部体育科学科開設!

アスリート養成・指導及びコンディショニングを科学的にサポートする指導者を養成!

CONTENTS

- 01 学長あいさつ
- 02 短期大学部のあゆみ
- 03 短大の思い出アルバム
- 05 大学の近況① 話題トピックス
- 07 大学の近況② 特別な取り組み / 学生活動情報 / 教員情報
- 09 同窓会の取り組み
- 11 卒業生の近況